【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成29年11月30日(2017.11.30)

【公開番号】特開2017-37784(P2017-37784A)
【公開日】平成29年2月16日(2017.2.16)
【年通号数】公開・登録公報2017-007
【出願番号】特願2015-158387(P2015-158387)
【国際特許分類】
Ｈ０５Ｂ　37/02　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０５Ｂ　37/02　　Ｊ

【手続補正書】
【提出日】平成29年10月19日(2017.10.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
光源を有する光源ユニットに接続される第１接続端子と、
前記光源ユニットに接続される第２接続端子と、
常用電源に接続され、平常時であるか非常時であるかを検知する切替回路と、
を備え、
前記切替回路が前記平常時であることを検知した場合、前記光源ユニットの前記光源が前記常用電源からの電力に基づいて点灯するように、前記第１接続端子は、前記常用電源に接続され、
前記切替回路が前記非常時であることを検知した場合、前記光源ユニットの前記光源が前記常用電源とは別の非常用電源からの電力に基づいて点灯するように、前記第２接続端子は、前記非常用電源に接続される、
非常用照明装置。
【請求項２】
前記光源ユニットを更に備え、
前記光源ユニットは、前記第１接続端子および前記第２接続端子のそれぞれを介して供給される電圧を前記光源の点灯に必要な電圧に調整する昇圧回路を備えている、請求項１に記載の非常用照明装置。
【請求項３】
前記第１接続端子は、前記光源ユニットの常用光源ユニットと接続され、
前記第２接続端子は、前記光源ユニットの非常用光源ユニットと接続されている、
請求項１または２に記載の非常用照明装置。
【請求項４】
前記光源ユニットをさらに備え、
前記光源ユニットは、
前記光源の一部である常用光源及び昇圧回路を含み、前記第１接続端子に接続される常用光源ユニットと、
前記光源の前記一部とは別の一部である非常用光源及び昇圧回路を含み、前記第２接続端子に接続される非常用光源ユニットと、
を有し、

前記常用光源ユニットの前記昇圧回路は、前記第１接続端子から入力された電圧を前記常用光源の点灯に必要な電圧に変換し、
前記非常用光源ユニットの前記昇圧回路は、前記第２接続端子から入力された電圧を前記非常用光源の点灯に必要な電圧に変換する、
請求項１に記載の非常用照明装置。
【請求項５】
単一の前記光源ユニットに前記第１接続端子及び前記第２接続端子を接続する接続部材を有する、
請求項１または２に記載の非常用照明装置。
【請求項６】
前記光源は、ＬＥＤである、
請求項１～５の何れか一項に記載の非常用照明装置。
【請求項７】
前記非常用電源に接続されている充電回路をさらに備え、
前記充電回路は、前記平常時に、前記常用電源からの電力に基づき、前記非常用電源を充電するように構成されている、
請求項１～６の何れか一項に記載の非常用照明装置。
【請求項８】
前記非常用電源をさらに有する、
請求項１～７の何れか一項に記載の非常用照明装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明は、光源を有する光源ユニットに接続される第１接続端子及び第２接続端子と、常用電源に接続されて前記常用電源から電力が供給され、平常時であるか非常時であるかを検知する切替回路とを備える。前記切替回路が前記平常時であることを検知した場合に、前記光源ユニットの前記光源が前記常用電源からの電力に基づいて点灯するように、第１接続端子が常用電源（商用電源）に接続され、前記切替回路が前記非常時であることを検知した場合に、前記光源ユニットの前記光源が前記常用電源とは別の非常用電源からの電力に基づいて点灯するように、前記第２接続端子が非常用電源（バッテリ）に接続される。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
また、本発明の非常用照明装置は、前記光源ユニットを更に備える。前記光源ユニットは、前記第１接続端子および前記第２接続端子のそれぞれの電圧を前記光源の点灯に必要な電圧に調整する昇圧回路を備えている。
本発明の非常用照明装置では、前記第１接続端子は、前記光源ユニットの常用光源ユニットと接続され、前記第２接続端子は、前記光源ユニットの非常用光源ユニットと接続されている。
本発明の非常用照明装置は、前記光源ユニットをさらに備える。前記光源ユニットは、前記光源の一部である常用光源及び昇圧回路を含み、前記第１接続端子に接続される常用光源ユニットと、前記光源の前記一部とは別の一部である非常用光源及び昇圧回路を含み、前記第２接続端子に接続される非常用光源ユニットと、を有する。前記常用光源ユニッ

トの前記昇圧回路は、前記第１接続端子から入力された電圧を前記常用光源の点灯に必要な電圧に変換する。前記非常用光源ユニットの前記昇圧回路は、前記第２接続端子から入力された電圧を前記非常用光源の点灯に必要な電圧に変換する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
これにより、本発明の非常用照明装置は、２つの接続端子（第１接続端子、第２接続端子）と切替回路とを備えいる。切替回路は、平常時に、第１接続端子に接続されている光源ユニットと商用電源とを接続して、商用電源により光源ユニットが有する光源を点灯させる。非常時には、第２接続端子に接続されている光源ユニットは、バッテリに接続されて、バッテリにより光源ユニットが有する光源を点灯する。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
第１接続端子と常用光源ユニットとが接続されているため、上記した切替回路によって、平常時は、常用光源ユニットと商用電源（常用電源）とが接続され、常用光源ユニットが有する常用光源が点灯する。また、第２接続端子と非常用光源ユニットとが接続されているため、非常時は、非常用光源ユニットが有する非常用光源が点灯する。本構成は、主に、組込型の非常用照明装置に最適な構成となる。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
近年、ＬＥＤは、短期間で次々と改良品が生産されている。本構成の非常用照明装置は、冷陰極管や蛍光灯だけでなく、改良されたＬＥＤにも柔軟に対応することができる。
本発明の非常用照明装置は、前記非常用電源に接続されている充電回路をさらに備えている。前記充電回路は、前記平常時に、前記常用電源からの電力に基づき、前記非常用電源を充電するように構成されている。
これにより、本発明の非常用照明装置では、非常時のために、バッテリを効率よく充電することができる。
本発明の非常用照明装置では、前記非常用電源をさらに有する。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２１】
図２に示すように、照明装置１００は、電源ユニット１０と、バッテリ（非常用電源）１１と、光源ユニットと、を備え、商用電源１２に接続されている。光源ユニットは、常用光源ユニット２０ａと非常用光源ユニット２０ｂとで構成されている。常用光源ユニット２０ａは、常用光源１を備え、非常用光源ユニット２０ｂは非常用光源２を備える。

【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２３】
充電回路１４は、非常時に備えて商用電源１２によりバッテリ１１を充電する。充電回路１４は、切替回路１６及び変換回路１７を介して商用電源１２に接続されている。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２６】
変換回路１７は、交流電圧を直流電圧に変換する。一般に、非常用照明装置は、通常ＡＣ１００Ｖ等の商用電源を使用する。商用電源１２は交流電圧であるが、バッテリ１１に充電するために、直流電圧に変換しなければならない。そのため、本構成の照明装置１００では、電源ユニット１０に変換回路１７を設ける。変換回路１７は、図２に示すように、切替回路１６と点灯回路１５との間であり、且つ、切替回路１６と充電回路１４との間に設ける。変換回路１７は、商用電源１２の交流電圧を直流電圧に変換する。